

主体的な学び・豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【R7学校評価計画書】

【美原区学校群におけるめざす子ども像】

(知)学びを楽しみ、(徳)仲間とのふれあいを楽しみ、(体)体を動かすことを楽しむ美原っ子 ～楽しく3つの調和のとれた児童生徒の育成をめざす～

2025/6/17

堺市立平尾小学校

校長 喜田和彦

【令和7年度 重点目標】

(1)「明日も学校に来ることが楽しみな子」の育成

- ・主体的に学ぶ子の育成 ～「見通す」「つなぐ」「ふり返る」をめざした授業づくり～(今年度研修テーマ)
- ・児童相互の交流の充実を図り、自分の考えを広めたり、深めたりできる授業の構築(3年前までの研修テーマ)
- ・子どもの「居場所と出番」のある教育活動の推進
- ・仲間の中で安心して過ごすことができる学校生活の実現
- (2)「グループ担任制」の考えを生かした教育活動の実施。(複数で子どもたちに対応していく)
- (3) 教職員それぞれの「よさ」や「発案・アイデア」を生かし、平尾小学校の教育をよりよいものとしていけるようにする。

《達成度の評価》 ◎:達成している ○:概ね達成している △:目標に達していない

【主体的な学びの現状】

- ・全国及び大阪府の学力調査では、国語・算数とも全国平均、堺市平均を下回る結果となっている。
- ・一方、昨年4年生以上で実施した堺市学調(IRT調査)の結果では、3学年とも、国語、特に算数は、上位・中位評価者が少なく、下位評価者が多い結果となった。その中でも、2年連続してIRT調査を実施した旧5年生では、個人の1年間の伸びについて、全員が国語と算数の両方、もしくはいずれかの教科で成績が向上している結果となった。特に、下位評価者の伸びが著しく、意欲をもって学びに取り組めた結果と考えている。
- ・実際、IRT調査による「総合学力プロフィール」では、どの子も非認知能力の値が高い結果となっている。「学習へ向かう意欲」について、主体的に学ぶ児童の心の動きを大切に学習指導へのアプローチが成果につながっていると考えている。

【豊かな心・健やかな体の現状】

- ・一昨年からスローガンとしている「友だちとなかよくする」「友だちの力になる」が児童に浸透するとともに、各学級・学年での日々の取り組みや平尾っ子での活動など異年齢の幼児やお年寄りとの交流を通して、児童相互のよりよい関係、相手を思いやる・大切にできる気持ちが育ってきていると考えている。
- ・スポーツテスト結果では、児童数が少ないこともあり、学年間のばらつきは見受けられる。一方、「運動がすき」「外遊びがすき」の項目では、9割以上が肯定的に回答しており、日々の体育の授業の工夫と、学級・学年・委員活動などでの遊びの展開の成果とみている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
主体的な学び	「グループ担任制」の考えを生かし、複数の目の目で子どもたちを見る、相談・支援・応援をする。	児童の主体的な学びを引き出す	★●校内研修のテーマとして「主体的に学ぶ子の育成」をきっかけ、研究授業と普段の授業の中で実践を積み重ねる。その視点として児童が「見通す・つなぐ・ふり返る」活動に焦点を当て、「子ども自らが学びを進める学習」につながる授業づくりを行う。	「主体的な学習」への取り組みアンケートの状況スコア75ポイント以上	堺市学力・学習状況調査 学校アンケート	1・2学期末					
		ICT活用を通して学力や情報活用能力の育成を図る	●児童に端末に慣れ親しませるとともに授業づくりに有効なICTの活用を図っていく。 ・端末の持ち帰りについて、有効な活用について検討し、順次実施の方向に向かう。	堺市学習・学力状況調査での一人一台端末の週1回以上の活用、9割。	堺市学力・学習状況調査 学校アンケート	1・2学期末					
		国語科の言語活動や様々な教科での児童相互の交流を通し、学びの質を高める(一昨年度までの研修の財産の継承)	・国語科における①児童による学習計画、②全文揭示、③言語活動の設定、④並行読書や全教育活動を通して⑤考えを持つ、⑥意見交流を行うなど、これまでの研修成果を継承して取り組む。	①～⑥の実践を授業観察から、確認。9割以上の実施をめざす。	学校アンケート	1・2学期末					
豊かな心・健やかな体	友だち(クラス・学年・異年齢)とより良い関係を築くとともに、規範意識を醸成する。 【いじめのない人間関係づくりにもつなげる】	友だち(クラス・学年・異年齢)とより良い関係を築くとともに、規範意識を醸成する。 【いじめのない人間関係づくりにもつなげる】	●1・2年生は、「友だちとなかよくする」、3～6年生は「友だちの力」になることを意識して学校生活を送ることができるようにすることで、豊かな人との関わりの実現につなげていく。	「友だちとなかよくする・力になる」肯定的回答が84%以上	堺市学力・学習状況調査 学校アンケート	1・2学期末					
			・「みそあじ」による月ごとの生活目標を守ることを通して、規律あるメリハリのついた学校生活を送ることができるようにする。 ・「みそあじ」は①身だしなみ②そうじ③あいさつ④時間を守る、の4つの目標。 ・廊下歩行の徹底に取り組む。	「決まりを守っている」肯定的回答が95%以上	堺市学力・学習状況調査 学校アンケート	1・2学期末					
		体育の授業や休み時間の遊びを通して運動に親しむ経験を豊かなものにする	・体育科において、授業の展開を工夫することによって、その運動の特性の持つ楽しさを楽しむようにする。 ・休み時間の外遊びに積極的に取り組めるようにする(時期・期間を絞って)	「運動やスポーツは好きですか」の肯定的回答が90%以上	堺市学力・学習状況調査 学校アンケート	1・2学期末					
地域協働	堺コミュニティ	・これまで地域との協働で培ってきた「地域コミュニティ学校」としての位置づけを今後につなげていくように配慮して、地域とのかかわりを継続していく。	・世代間交流、野菜の栽培活動、平尾つまっ子等の子どもと地域、保護者との交流活動や支援活動を行うことで、三者協働による学校づくりを進める。	堺コミュニティや地域の力を借りての協働した学習の実施(学校で6回以上)	学校アンケート	2学期末					
	学校群	・昨年の美原区全体での学校群の試行実施の実績をもとに、より意味のある学校群の取組に高めていく。	・みはら大地幼稚園との交流、美原中学校との連携を強化していく。 ・学校群での人材活用を進める。	・夏季研修会での肯定的意見8割以上。	学校群アンケート	2学期末					
【校長より(年度末)】									【学校関係者評価者から(年度末)】		